

障害者（児）実態・意向調査の結果について

1 目的

令和 5 年度に障害者・児計画（令和 6 年度～8 年度）を策定するに当たり、その基礎資料を得るとともに、障害者・児の日常生活の実態や、サービス利用状況及び希望、障害福祉サービス等事業所の現状等を把握するため、調査を実施した。

2 調査の種類

(1) 量的調査（アンケート調査）

- ① 在宅の方を対象とした調査
- ② 18 歳未満の方を対象とした調査
- ③ 施設に入所している方を対象とした調査
- ④ サービス事業所を対象とした調査
- ⑤ 長期入院施設を対象とした調査

(2) 質的調査（インタビュー調査）

区内施設等を利用する知的障害者及び精神障害者を対象として、日中の楽しみ、余暇の過ごし方、相談相手、地域との交流等を聞き取り

3 調査方法

(1) 量的調査

郵送配付、郵送又はインターネットによる回収

(2) 質的調査

施設訪問等によるグループインタビュー

4 実施時期

(1) 量的調査

令和 4 年 10 月 3 日～10 月 31 日

(2) 質的調査

令和 4 年 8 月～12 月

5 主な調査項目（障害者差別及び合理的配慮の提供に係る部分）

地域で障害者差別や合理的配慮の不提供を感じる場面、地域に求める合理的配慮、差別解消を進めていくために必要なこと、合理的配慮を進めていくために必要なこと

6 回収状況等

(1) 量的調査

① 区民向け調査

調査の種類	配付数	回収数	有効回答数	有効回答率
在宅の方	5,087	2,003	2,000	39.3%
18歳未満の方	878	351	350	39.9%
施設に入所している方	143	86	85	59.4%
計	6,108	2,440	2,435	

② サービス事業所向け調査

調査の種類	配付数	回収数	有効回答数	有効回答率
サービス事業所	95	73	73	76.8%

③ 長期入院施設向け調査

調査の種類	配付数	回収数	有効回答数	有効回答率
長期入院施設	65	53	53	81.5%

(2) 質的調査

施設（17か所）の利用者94名に対して実施

7 調査結果

別紙のとおり